



こんにちは！北区の やまべひろしです

老朽化した市営団地

住民の皆さんと速やかな改修を申し入れました

建築から50年近く経ち、老朽化が著しい市営楠団地。今回、住民の皆さんが市に対して、劣化が激しい建物外壁や白線の消えている駐車場の改修などを求める申し入れを行いました。

外壁は塗装がはがれコンクリートの下地が露出している状態です。一部コンクリートがはがれ落ちるなどして、事故の危険性があります。

また、駐車場は白線が消えているだけでなく、アスファルトが経年劣化し表面がデコボコして、高齢者がつまずき転倒しかけるなど大変危険です。

市は、昭和40年代に建築された22棟を対象に平成27年より順次、外壁の改修工事を実施しており、今年度までに17棟の改修が完了予定です。駐



車場は昨年度までに、22棟のうち5棟分が完了しています。

しかし、残りすべての工事が完了するまで、外壁が5年、駐車場は10年かかるとのこと。震災で一時工事が中断しただけでなく、予算や業者の確保が課題となっています。事故が起こる前に、速やかな改修が求められます。

▼外壁工事の進捗状況

外壁改修工事					
年度	団地数	棟数	予算(千円)	決算(千円)	団地名
27	3	9	440,000	373,490	楠、川鶴、宇留毛
28	3	13	560,000	535,181	楠、尾ノ上、新地
29	3	11	560,000	542,368	楠、東町、尾ノ上(H30繰越工事中)
実施計(過去5年)			9団地33棟		
H30年度計画	600,000	武蔵ヶ丘、楠、東本町			

▼はがれ落ちた外壁塗装



負担の限界！払いたくても払えない！ 国民健康保険料がさらに引き上げ

6月上旬、今年度の国民健康保険料の納付通知が各ご家庭に届けられる予定です。

他の医療保険と比べても高い国保料。しかも、熊本市の国保料は、政令市20市の中で、もっとも負担の重い水準となっています。さらに、今年度は、一人あ



たり平均で約4,300円の値上げとなり、「負担の限界。払いたくても払えない」との声も寄せられています。

なぜ?! 所得の低い世帯ほど値上げに!

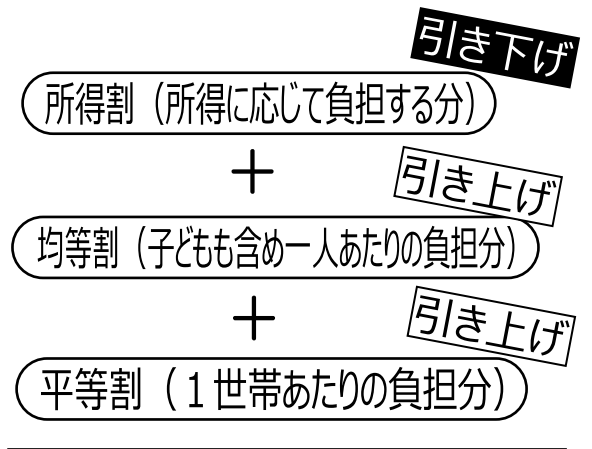
今回の国保料の改定の特徴は、所得の低い世帯が値上げとなり、所得の高い世帯が値下げとなっていることです。

国保は、右の表のように、所得割と均等割りと平等割の合計で保険料が決まります。

所得割が下がり、均等割(一人あたりの負担分)や平等割(1世帯あたりの負担分)が上がったため、多人数世帯や所得の低い世帯で値上げとなっています。

熊本市は大西市長となり、国保会計への支援額が(赤字補てん分)が大幅に減少しています。さらに今年度も減額。その

一方で、市民には、保険料の値上げを強いることは許されません。



年間の国保料

■夫婦(40歳以上)と子ども2人の4人世帯の所得ごとの国保料比較

	改定前	改定後	差額
所得なし	6万1350円	7万2660円	1万1310円増
所得50万円	12万6220円	14万2605円	1万6385円増
所得200万円	39万9070円	40万5287円	5945円増
所得300万円	58万970円	57万9955円	1015円減
所得400万円	72万1970円	70万6455円	1万5515円減